

平成31年度・令和元年度

# 県弓道大会要領

自 平成31年4月

至 令和2年3月

埼玉連の大会では、入賞者をホームページに掲載しています。公表を希望されない方は、大会参加申込書の「特記」欄にホームページへの掲載を希望しない旨明記してください。



埼玉県弓道連盟競技委員会

## はじめに

この大会要領は、紙面の都合もあり、その基本的要件についてのみ掲載したので、次の事項にご留意の上、ご協力の程宜しくお願い致します。

### 記

- 1 参加資格 県内大会は、特別な大会を除き、埼玉県弓道連盟の一般会員であること。
  - 2 審判員 この要領の中で、プログラムを作成しない大会の審判員は、次の様  
にお願い致します。  
  
審判長 埼玉県弓道連盟会長  
審判員 顧問、副会長、正副理事長、常任理事、支部長及び会長から任命  
された方  
的前審判 的前係
  - 3 各係の業務分担については、次の事項(詳細巻末別紙)にご留意の上、ご協力願  
います。  
  
総務係 受付、接待担当。受付は当日の出欠・変更を記録して競技前に  
各係に連絡する。使用セッケンの管理も行う。  
招集係 射場外で円滑に競技ができる様に、進行係・記録係と密接な連  
携をとり選手を導く。弦巻の管理も行う。  
進行係 射場内で競技の進行全般を担当する。招集係・記録係・的前係  
と密接な連携をとり競技を進める。  
記録係 競技上の問題が生じた場合には一時競技を停止し、競技委員  
長・審判長等の判断のもと競技を進める。  
的前係 的前係と密接な連携をとり、的中・得点を適切に記録するととも  
に、掲示板の記録用紙に記入する。  
全記録結果表を大会終了後に競技委員長に提出する。  
的中・得点を適切に判断を下し、安全を確認し射場に明確かつ  
速やかに伝える。  
競技前に塚の清掃・的付け、的中表示盤の点灯確認等をする。
- ※ 競技終了後、総務係・進行係は選手控室を、招集係・記録係は射場内外の清  
掃・整備をする。的前係は塚の清掃・的張りをする。
- 4 参加申込 競技委員会は大会案内、申込書等を、支部長又は支部担当者を通じ  
て送付する。支部長又は支部担当者は、参加者を競技委員会に報告す  
る。  
競技委員会は申込書をもとに大会表を作成する。  
原則としてID申込みとする。

競技の運営、運行にあたりましては、各支部選出の競技委員を中心に、各支部の選手  
の積極的な参加のもとに、大会が滞りなく終了することにご協力を賜りますようお願い申  
し上げます。

なお、会場使用にあたっては、備品の利用等で借用先に迷惑をかけないよう、競技委  
員並びに選手一人ひとりが心を配り、次の利用者が気持ち良く利用できるよう、必ず元  
の位置に戻し、常に整理整頓をすることを心掛けるようお願い申し上げます。

埼玉県弓道連盟競技委員会

委員長 **市川政子**

# 県弓道大会要領

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運 行
2019年 令和元年 5月14日(火)  開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)  6月3日(月) 7月1日(月) 9月2日(月) 10月15日(火) 開館時刻 (9:00)	全国健康福祉大会(ねんりんピック)県連予選会 兼 第31回埼玉県実 年者弓道選手権大会  ねんりんピック錬成会 〃 〃 県立武道館 [上尾市]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</li> <li>○射数は10射、一手1回・四ッ矢2回、坐射で行う。</li> <li>○参加資格 60才以上(年度内に60才になる昭和35年4月1日以前出生の者は可)</li> <li>○参加申込にあたって、ねんりんピックと実年者のどちらか又は両方への参加種別を明記して申し込む。</li> <li>○さいたま市の選手はねんりんピック予選に参加する場合、埼玉県又はさいたま市のどちらでの選考エントリーか明記のこと。                      ※埼玉県代表は埼玉県内在住者、さいたま市代表はさいたま市内在住者とする。</li> <li>○ねんりんピック選手選抜                      選手7名(内女子2名・70才以上1名を含む)選出し、その内1名を監督とする。                      ※チームは埼玉県及びさいたま市の2チームを決定する。</li> <li>○2018年に代表で出場した選手は、連続して代表になれない。</li> <li>○表彰                      入賞は5位迄、賞状は3位迄授与する。</li> </ul> <p>総務＝東部支部、 招集＝西部支部                      進行＝県南支部、 記録＝中部・県北支部                      的前・的張＝県央・秩父支部                      介添＝県南支部</p>
5月25日 (土) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	埼玉県弓道選手権 等大会兼各種選考会  【称号者の部】  県立武道館 [上尾市]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</li> <li>○竹弓、竹矢を使用のこと。</li> <li>○射数は6射、3人立、4射場で一手3回・坐射で行う。</li> <li>○入賞は、5位迄・賞状は3位迄授与する。</li> <li>○全弓連会長楯争奪戦は、6射4中以上の者の射詰で行う。</li> <li>○前年度優勝者には、レプリカを授与する。</li> <li>○関東・三県選抜弓道大会出場候補者及び全日本選手権大会出場候補者並びに都道府県対抗弓道大会出場候補者を、男女10名程度選出し、後日選考会を行う。(※6月1日(土) 県立武道館にて)</li> <li>○連絡の都合上、予選通過者及び補欠者の住所・氏名・電話番号・E-Mailアドレス等を記録しておくこと。</li> </ul> <p>総務＝県央支部、 招集＝秩父支部、                      進行＝東部支部、 記録＝県南・西部支部                      的前・的張＝中部・県北支部                      介添＝秩父支部</p>

# 県弓道大会要領

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会 運 行
5月26日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	同上 <b>【有段者の部】</b> 県立武道館 [上尾市]	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</li> <li>○射数は6射、3人立、4射場で一手1回四ツ矢1回・坐射で行う。</li> <li>○表彰は、四・五段及び参段以下の部の2種別とし、 入賞は、5位迄、賞状は3位迄授与する。</li> <li>○全弓連会長楯争奪戦は、6射4中以上の者の射詰で行う。</li> <li>○前年度優勝者には、レプリカを授与する。</li>   <li>○関東選抜弓道大会有段者の部及び 三県選抜弓道大会四・五段の部出場候補者 10名程度を選出し、後日選考会を行う。 (※6月1日(土) 県立武道館にて)</li> <li>○三県選抜弓道大会参段以下の部 出場選手5名・補欠1名を選出する。</li> <li>○連絡の都合上、予選通過者及び補欠者の住所・氏名・ 電話番号・E-Mailアドレス等を記録しておくこと。</li>   <li>総務＝県央支部、 招集＝秩父支部 進行＝県北支部、 記録＝東部・中部支部 的前・的張＝県南・西部支部 (矢渡し無し)</li> </ul>
※ 6月1日 (土) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	全日本弓道選手権 大会等選考会 県立武道館 [上尾市] 兼 全日本選手権 関東ブロック予選 運営リハーサル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月25日、26日の県選手権大会において選出された選手を もって二次選考会を行う。</li> <li>○立順表を作成する。</li> <li>○5人立、2射場で行い射技の採点と的中数を加味して選出する。</li> <li>○射数は当日決定する。</li>   <li>○全日本選手権関東ブロック大会出場候補選手を男女4名ずつ 選出する。</li> <li>○関東選抜選手権出場候補選手を称号者、有段者各5名 ずつ選出する。</li>   <li>○群馬・栃木・埼玉 三県選抜大会出場候補選手を称号者、 四・五段の選手をそれぞれ5名ずつ選出する。 *参段以下の部5名は、選手権で決定済み</li>   <li>※全競技委員を含む関東ブロック予選競技役員予定者で運営する。</li> </ul>

# 県弓道大会要領

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会 運 行
7月7日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第31回埼玉県弓道 遠的選手権等大会  県立武道館 [上尾市]	<p>○5月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○種目種類 遠的60m個人競技 ○種別 男子の部：五段以上、四段以下。 女子の部：五段以上、四段以下の4部門とする。 ※全日本遠的選手権大会参加選手区分による。 ○競技方法 射行は100cm霞的使用、立射・一手1回、 4ツ矢2回 計 10射。(五段以上は、竹弓を使用のこと。) ○入賞 各部3位まで、賞状を授与し、各部最高の中者をも って競射し、優勝者には、選手権賞を授与する。 ○全日本遠的選手権大会出場候補者に男女10名程度を選出し 後日予選会を行う。(※7月13日(土) 県立武道館にて) ◎全日本遠的選手権大会出場者は、射品・射格を加味し、該当 選手に通知する。</p> <p>総務＝東部支部、 招集＝県南支部 進行＝西部支部、 記録＝県央・秩父支部 的前＝中部・県北支部 介添＝県北支部</p>
※7月13日 (土) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第70回全日本弓道 遠的選手権大会 出場選手二次選考会  県立武道館 [上尾市]	<p>○7月7日の県遠的選手権大会において選出された選手を もって二次選考会を行う。 ○立順表を作成する。 ○距離は60m、79cm霞的使用する。 ○4人立、2射場とし、一手1回、4ツ矢1回を行い、休憩後に 一手5回を行い、射技の採点と的中数を加味して選出する。 ○男女各3名ずつ選出する。</p> <p>※東部・県央・県南支部の競技委員で役員を構成すること。</p>
7月20日 (土) (9:30)	第32回埼玉県民総合 スポーツ大会 【弓道中学生の部】 兼 第16回全国中学生 弓道大会埼玉県予選会 秩父第一弓道場 [秩父市]	<p>○5月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○運営及びプログラムの作成等は競技委員会で行う。 ○大会役員は、秩父支部長、秩父支部会員及び各中学校等 の弓道部顧問が当たる。 ○成績結果を、全弓連及び県体本部に送付する。</p> <p>介添＝秩父支部</p>

# 県弓道大会要領

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運営行
7月27日 (土) 開館時刻 (9:00) 開始時刻 (9:30)	全日本弓道選手権 関東ブロック予選会 会場設営及び 運営リハーサル  県立武道館 [上尾市]	○翌28日開催の関東ブロック予選会会場設営 及び運営リハーサル  ○参加 別途定める競技役員等
7月28日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	全日本弓道選手権 関東ブロック予選会 県立武道館 [上尾市]	○5月上旬に大会案内、申込書等を、関東地連より各県連会長に送付 ○大会役員等は別途定める。 ○競技種目 近的個人 男子の部・女子の部 ○参加資格 関東地連の各連盟より選抜された選手 ○競技人数 各地連とも男子4名・女子4名 合計80名 ○競技方法 各自一手行射の採点により、一次予選で上位男女各 15名を選出、続いて二次予選は一手2回行射の採点 により男女各10名を関東ブロック代表選手に選出 ○立順は、関東地連事務局が行う抽選により決定  ○競技委員の役割分担は、下記を基本とし、別途定める。 総務＝県央支部、 招集＝秩父支部、 進行＝東部支部、 記録＝県南・西部支部 的前・的張＝中部・県北支部
8月11日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第62回三県選抜 弓道選手権大会 県立武道館 [上尾市]	○6月中旬に大会案内、申込書等を、各県連会長に送付する。 ○大会役員等は別途定める。 ○競技種目 参段以下、四・五段、称号者の部 ○参加資格 群馬・栃木・埼玉県の各連盟より選抜された選手 ○競技人数 各部門とも1チーム5人 ○競技方法 総合的中数を競う。  ○競技委員の役割分担は、下記を基本とし、別途定める。 総務＝県央支部、 招集＝秩父支部 進行＝県北支部、 記録＝東部・中部支部 的前・的張＝県南・西部支部

# 県弓道大会要領

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運 行
9月8日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第57回埼玉県勤労者 弓道選手権大会  県立武道館 [上尾市]	<p>○7月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○参加資格 埼玉県弓道連盟会員で、勤労者であること。 (勤労者の適否は、各支部長の判断によるものとする。)</p> <p>○チーム編成は、同一の官公庁、会社等に在籍する者で編成することを原則とし、無理な場合、同一の道場でのチーム編成を認める。それでもチームができない場合、個人戦のみ参加と特記のうえ申込みこと。</p> <p>○競技方法 3人1チームとし、団体12射(各自4射)で的中6中以上の上位32チームまでを予選通過とする。 (32チームに満たない場合にはシード枠とする。) 決勝トーナメント戦:団体6射(各自2射)同中の場合は、各自1射の競射とする。 個人戦は団体予選の的中をもって、個人の成績とし、4射皆中の者をもって射詰めを行う。 (4射皆中者がいない場合のみ3中者で順位決定) 行射時間制限を採用する。 個人戦のみ参加者は団体予選後の立順とする。</p> <p>○入 賞 団体3位(3位2チーム)まで、個人10位以内。 技能賞若干名は個人決定戦の中より選定する。</p> <p>総務＝県央支部、 招集＝秩父支部、 進行＝中部支部、 記録＝県北・県南支部 的前・的張＝東部・西部支部 介添＝西部支部</p>
9月29日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第32回埼玉県民 総合スポーツ大会 【弓道・一般の部】 近的・遠的  県立武道館 [上尾市]	<p>○6月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○各支部で予選会を行い、参加人員と予選通過者を、競技委員会宛報告する。</p> <p>○競技の種別は、女子、参段以下、四・五段、及び称号者の部、の4部門とする。</p> <p>○選抜は原則として、同一市町村居住者でのチーム構成とする。但し、選手不足の場合は支部内市町村居住者であれば他市町村居住者との併合も可とする。</p> <p>*各支部予選会では、他支部所属の選手が同一居住市町村チームとして出場することを可とするよう配慮する。</p> <p>*同一種別内で同一市町村の選手でのチーム構成ができる場合、チームを分割して他市町村の選手が入る構成は認めない。</p> <p>例:A市チーム(A市・A市・A市)、B市チーム(B市・B市・B市)は○ ABチーム(A市・A市・B市)、BAチーム(B市・B市・A市)は× ACチーム(A市・A市・C市)、BDチーム(B市・B市・D市)は○ 種別毎3チーム以内(同一市町村複数でも可)とし、その選考は、当該支部の任意とする。</p> <p>次頁へ続く</p>

# 県弓道大会要領

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運 行
		前頁より続く  ○同一チーム内の大学生(一般会員)は2名以下とする。 ○立 順 近的競技は、①参段以下②称号者③女子及び④四・五段の部の順に行う。 遠的競技は、①女子②四・五段③参段以下及び④称号者の部の順に行う。  ○競技方法 近的競技は、的中制による団体は12射(各自4射)とする。個人は団体競技の個人成績による。遠的競技は、得点制により、団体・個人とも射数等は、近的競技と同じ。行射時間制限を採用する。  ○表 彰 近的・遠的とも、団体3位、個人3位まで、賞状を授与する。  総務＝東部支部、 招集＝中部支部 進行＝県北支部、 記録＝西部・秩父支部 的前・的張＝県央・県南支部 介添＝矢渡し無し
11月24日 (日) 開館時刻 (8:00) 開始時刻 (9:30)	第17回 埼玉県武道大会 【弓道大会】  県立武道館 [上尾市]	○7月中旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ○競技方法:中学生は、個人戦とし、支部対抗は高校男・女、一般男・女各5名で構成し、各自一手1回四ツ矢1回の6射で的中総数をもって順位を決定する。 個人戦は団体戦の個人成績をもって順位を決定する。尚、団体戦は行射時間制限を採用する。 ○賞状・賞品等は団体、個人ともに3位まで。  総務＝県央支部、 招集＝秩父支部、 進行＝東部支部、 記録＝県南・西部支部 的前・的張＝中部・県北支部 介添＝県央支部
2020年 令和2年 1月5日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	埼玉県弓道連盟新年 初射会・昇段昇格者披露 及び優秀選手表彰  県立武道館 [上尾市]	○11月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。 ①巻藁射礼 ②矢渡し ③一ツ的射礼 ④持的射礼 ⑤祝射 ○一手皆中者は、射詰で順位を決定する。 ○入 賞 有段者・称号者とも5位まで、賞状は3位まで授与する。  次頁へ続く



# 県弓道大会要領

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(曜) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	大会運 行
		<p>前頁より続く</p> <p>○昼食、蜜柑等は、埼玉連で準備する。</p> <p>総務＝東部支部、招集＝県南支部                      進行＝県央支部、記録＝西部・県北支部                      的前・的張＝中部・秩父支部                      介添（巻藁）＝東部支部                      介添（矢渡し）＝中部支部</p>
3月1日 (日) 開館時刻 (8:30) 開始時刻 (9:30)	第67回全日本勤労者 弓道選手権大会 埼玉県予選  県立武道館 [上尾市]	<p>○1月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○射数は、4ッ矢3回の12射で行う。</p> <p>○2位及び4位の同点競射は各自一手で行う。</p> <p>○競技方式により、的中上位の2チームを、予選通過(埼玉県代表)とする。</p> <p>○予選通過の事業所等に、当該大会要項及び申込書を渡し、開催地受付に参加申込みの手続きをさせる。</p> <p>○行射時間制限を採用する。</p> <p>○運営等は、競技委員会の全役員で執り行う。</p> <p>○終了後、競技委員研修及び翌年度大会要領(案)の検討を行う。</p>
3月8日 (日) 受付時刻 (9:00) 開始時刻 (10:00)	神奈川弓連・埼玉連 弓道指導者 交歓親善射会  県立武道館 [上尾市]	<p>○1月上旬に大会案内、申込書等を、各支部長に送付する。</p> <p>○参加資格 称号受有者。</p> <p>○5人立、2射場にて行射する。</p> <p>○射数は参加人数により決定。</p> <p>○参加費 一人1,000円</p> <p>○昼食は埼玉連で用意する。</p>

## 行射時間

3人立	坐射	各自4射	7分30秒以内
		各自2射	4分30秒以内
	立射	各自4射	6分30秒以内
		各自2射	4分以内

5人立	坐射	各自4射	10分以内
		各自2射	6分以内
	立射	各自4射	9分30秒以内
		各自2射	5分30秒以内

( 弓道競技規則 より )

## 埼玉連行事(県武道館開催)における各支部競技役員の仕事分担

「県弓道大会要領」の各種大会における、各支部に担当して頂く分担作業についての業務内容を記載致しました。大会前に担当業務を確認し県武道館の開館後、競技役員の方を中心にして支部参加選手の協力も得ながら進めて頂きますようお願い致します。師範室の奥にある備品保管場所への入室は競技役員の方をお願い致します。一般参加選手の入室は控えてください。

- 総務
- 1 入館後、受付用机・椅子の設置と筆記用具を準備し受付を開始する。
  - 2 受付付近に黒板を移動し、参加者名簿を掲示する。(参加人数により設置場所を考慮する)
  - 3 受付用名簿で参加者の確認をし、欠席者の削除を行う。(氏名などに間違いがないかも確認する・集金等)
  - 4 大会により、2階師範室前にも参加者名簿の掲示する場合がある。
  - 5 ゼッケンを10枚づつに分けて道場入り口付近に準備する。(大会終了後の回収も行う)
  - 6 大会役員の接待を行う。(朝、昼食時他)
  - 7 競技役員の昼食・お茶他の準備と片付けを行う。
  - 8 道場全体の清掃状態の確認及び忘れ物の保管を行う。
  - 9 参加者・役員の退出口を確認後、総務役員が退出する。(掲示物の撤去確認・消灯・ゴミの搬出等)
- 的 前
- 1 看的用テーブル・椅子を準備し、看的表示盤をセットし点灯確認する。
  - 2 開始前の安土に散水する。(昼食時と大会終了後の安土整備と散水も行う)
  - 3 利用の時期や天気予報の状況により、雨よけ・日よけの設置を行う。
  - 4 矢渡し用の的付け及び大会用の的付け及び24cm的の準備を行う。(予備的)
  - 5 的中確認後、記録係りとの連携、矢取りを行う。(矢返しは羽根を上座にして正しく持ち、矢立に戻す)
  - 6 遠近競射の前に掃き矢の判定が出来るよう「的」の下にホウキ目を入れる。
  - 7 競射の順位判定(3人)の方法及び矢の受け渡し方法の習得しておく。(メジャーの準備)
  - 8 射詰(優勝決定)、遠近(順位決定)など種別と使用的の確認を「進行」と連携する。
  - 9 大会で使用した的の張替(ビニールの)、矢ふきタオルの洗濯を行う。
  - 10 看的表示盤・雨よけ・日よけ等備品の片付けを行う。
- 記録
- 1 記録用の机・椅子・筆記用具の準備し、開会式終了後速やかに移動する。(受付分も利用する)
  - 2 大会種別により計時の準備と動作確認を行う。
  - 3 的中結果を随時、掲示用参加者名簿に転記する。
  - 4 大会終盤少し前から、的中状況から上位入賞該当者(ゼッケン番号)を抜き出しておく。
  - 5 競技終了後に上位入賞該当者リストを「進行」「招集」に渡せるよう準備しておく。
  - 6 大会により「今何をしているか」等の放送をする。(武道大会のチーム名など)
  - 7 黒板に上位入賞該当者書き出しておく。書き方にも工夫する。
  - 8 黒板に遠近競射・射詰競射の結果を記録する。
  - 9 大会終了後、机・椅子・筆記用具・計時等の片付けを行う。
  - 10 大会の全記録を一部競技委員長に提出する。

## 埼玉連行事(県武道館開催)における各支部競技役員業務分担

- 招 集
- 1 射場の扉の開閉。観客席入口の扉の開閉を行う。
  - 2 開会式の10分前ころに参加者に対して「射場集合」の声掛けを行う。
  - 3 第1・第2控えの選手用椅子の設置をする。(大会により2階に第3控えあり)
  - 4 弦巻・替え弓の管理及び弦切れに注意し「進行」と連携し対応する。
  - 5 弦巻返却用のかごの準備を行う。
  - 6 立順確認を「進行」と事前確認しておく。(12時を目安に午前の部をどこで区切るかなど)
  - 7 競技終了の少し前に「記録」と連携し、上位入賞該当者を招集し始める。
  - 8 射詰競射該当者は(4矢を準備させ)1手、遠近競射該当者は1本を用意させる。
  - 9 「進行」の競技終了宣言に合わせて、参加者に対し「閉会式の射場集合」の声掛けを行う。
  - 10 競技終了後の射場清掃を行う。
- 進 行
- 1 開会式用拡声器の設置、マイク準備と音声確認を行う。
  - 2 競技役員の名札を準備し、机に並べておく。
  - 3 トランシーバーの準備と通信確認後、進行・記録・的前に配布する。大会により必要数が変わる。
  - 4 開会式終了後、本坐・射位・立札の設置や的付けの確認及び射場の安全確認を行う。
  - 5 矢渡しの入場指示を行う。(師範席・見学者の状況を見る)
  - 6 競技の開始・終了宣言を行う。(控えの位置から7歩進む)入場の指示「はじめ」の合図など。
  - 7 大会の時間管理を行う。(午前と午後の区切り・午後の開始時間等)
  - 8 行射中の射場安全管理と危険防止及び弦切れ、失の対応を行う。――「招集」と連携する。
  - 9 順位決定に参加する人数を考慮し、どの射場を使用するか判断と「師範席・的前・記録」への連絡を行う。
  - 10 矢の受渡しは上位入賞者のゼッケン番号と氏名を記録担当に報告(復唱)確認後、該当者に矢を渡す。
- その他
- 新年初射会は、以下の準備を前日にする事があります。
- ◎ 巻藁射礼用の巻藁・巻藁台を1階に移動
  - ◎ 巻藁射礼・矢渡し・一つの射礼の拡大コピーの準備と掲示
  - ◎ 師範席のひざ掛け・スリッパ・座布団の準備
  - ◎ 2階倉庫から弓立の移動と女子更衣室の貼紙
  - ◎ 師範室で使用する接待用品・トロフィー等の搬入

神奈川弓連・埼玉連親善射会(埼玉県開催)に県南・県央・東部支部より各5名程度、四・五段の方に競技役員を支部長経由で依頼する事があります。

県民体育大会は、近的競技と遠的競技が同時に進行します。通常より少ない競技役員での対応となりますので効率の良い対応をお願いします。

限られた人数でそれぞれの業務を分担しておりますので、競技役員が欠席する場合は必ず代理の方の出席をお願い致します。

# 県弓道大会 役割分担一覧表

埼玉県弓道連盟 競技委員会

月日(日程) (開館・開始)	競技会名 (実施会場)	総務	招集	進行	記録	的前	介添
2019年(令和元年) 5月14日(火) 開館(8:00) 開始(9:30)	全国健康福祉大会(ねんりんピック)県連予選会 兼第31回埼玉県実 年者弓道選手権大会	東部支部	西部支部	県南支部	中部支部 県北支部	県央支部 秩父支部	県南支部
5月25日 (土) 開館(8:00) 開始(9:30)	埼玉県弓道選手権 等大会兼各種選考会 【称号者の部】 県立武道館	県央支部	秩父支部	東部支部	西部支部 県南支部	中部支部 県北支部	秩父支部
5月26日 (日) 開館(8:30) 開始(9:30)	埼玉県弓道選手権 等大会兼各種選考会 【有段者の部】 県立武道館	県央支部	秩父支部	県北支部	東部支部 中部支部	県南支部 西部支部	無し
6月1日 (土) 開館(8:30) 開始(9:30)	全日本弓道選手権 大会等選考会 県立武道館	県央支部	秩父支部	東部支部	県南支部 西部支部 県北支部	中部支部	選考会終了後、全日本選手権関東ブロック予選の運営リハーサルを行う。 ○競技委員の役割分担は、上記を基本とし別途定める。
7月7日 (日) 開館(8:00) 開始(9:30)	第31回埼玉県弓道 遠的選手権等大会 県立武道館	東部支部	県南支部	西部支部	県央支部 秩父支部	中部支部 県北支部	県北支部
7月13日 (土) 開館(8:30) 開始(9:30)	第70回全日本弓道遠的 選手権大会出場選手 二次選考会 県立武道館	※東部・県央・県南支部の競技委員で役員を構成すること。(当日発表)					
7月27日 (土) 開館(9:00) 開始(9:30)	全日本選手権 関東ブロック予選 会場設営及び 運営リハーサル	翌28日開催の全日本選手権関東ブロック予選会場設営 及び運営リハーサル ○競技委員の役割分担は、下記を基本とし別途定める。					
7月28日 (日) 開館(8:30) 開始(9:30)	全日本選手権 関東ブロック予選	県央支部	秩父支部	東部支部	県南支部 西部支部 県北支部	中部支部	○競技委員の役割分担は、上記を基本とし別途定める。
8月11日 (日) 開館(8:30) 開始(9:30)	第62回三県選抜 弓道選手権大会 県立武道館	県央支部	秩父支部	県北支部	東部支部 中部支部	県南支部 西部支部	
9月8日 (日) 開館(8:00) 開始(9:30)	第57回埼玉県勤労者 弓道選手権大会 県立武道館	県央支部	秩父支部	中部支部	県北支部 県南支部	東部支部 西部支部	西部支部
9月29日 (日) 開館(8:30) 開始(9:30)	第32回埼玉県民 総合体育大会 【弓道。一般の部】 近的・遠的	東部支部	中部支部	県北支部	西部支部 秩父支部	県央支部 県南支部	無し
11月24日 (日) 開館(8:00) 開始(9:30)	第17回埼玉県武道大会 【弓道大会】 県立武道館	県央支部	秩父支部	東部支部	県南支部 西部支部	中部支部 県北支部	県央支部
2020年(令和2年) 1月5日 (日) 開館(8:30) 開始(9:30)	埼玉県弓道連盟新年 初射会・昇段昇格者披露 及び優秀選手表彰 県立武道館	東部支部	県南支部	県央支部	西部支部 県北支部	中部支部 秩父支部	(巻藁) =東部支部 (矢渡し) =中部支部
3月1日 (日) 開館(8:30) 開始(9:30)	第67回全日本勤労者 弓道選手権大会 埼玉県予選 県立武道館	運営等は、競技委員会の全役員で執り行う。 午後から競技委員会研修及び翌年度大会要領の検討を行う(弓具持参)					
3月8日 (日) 受付(9:00) 開始(10:00)	神奈川弓連・埼玉弓連 弓道指導者交歓射会 県立武道館	埼玉県参加者は、受付で1人千円を支払う 競技役員と支部選出メンバーで分担する予定。(昼食・交通費を支給) 埼玉開催時(業務分担表を作成し事前にメールを送信し内容を発表)					

大会終了後の片づけは、準備した支部が行って下さい。